

轟とどろ

平成22年12月24日

12月号

鏡小学校との交流会を実施



11月9日(火)に全校児童と先生達は、鏡小学校に交流学習に出かけました。日ごろ、少人数複式授業を受けている子ども達に同学年多人数学級での体験を通して、いろいろな友達や考え方に触れる機会を設定しました。昨年度は、新型インフルエンザの大流行で急遽中止となりましたが、今年は予定通り実施することができました。各クラスの中に入っていっぱい友達を作って、一緒に勉強したり遊んだりと有意義な活動が進められました。鏡小学校の子ども達も先生方も心からの歓迎に感謝でいっぱいでした。

授業参観・学習発表会・門松づくり等が盛大に



9日(木)は授業参観・学習発表会・親子ソフトバレー・親子給食・門松づくりと行事が回を押しで慌ただしい一日となりました。また、市教委からも3名の先生方にも来校いただきました。一人一人がどの場面でも活躍が見られ大変嬉しく思いました。正門には、立派な一対の門松ができあがり、子ども達の登下校を見守っています。

たった一人の入寮体験

11月18日に6年生は、中学進学を前に入寮体験をしました。先輩達に囲まれての体験でしたが、楽しみと不安が交錯したようです。



校長コラム

いま日本人の「おもてなしの心」が外国人に評判になっている。お客の立場に変わって大満足させて、また来たいと思ってもらえるおもてなしはどうすればいいのか観光地間でしのぎあっている。従来の黙っていても客は来る時代は去った。従来通りのことしかしなかった観光地やホテルはさびれ閉鎖している。新幹線開業を前に熊本でも外国人を含めた観光客の視点でのおもてなしの心が特に検討されている。五家荘も最大の観光地、何を求めて人は五家荘を訪れるのか。絶対に「心の癒し」に他ならない。人の心の温かさ、のんびりとした時間、自然の豊かさを満喫していただくためには地域全体で一層のおもてなしの心を全面に出した取組が必要である。本校は、子ども達に近い将来の基本的資質となる挨拶・言葉遣い・思いやりと笑顔を徹底して進めている。

よ福根山に記念植樹



3日(金)に雪まじりの寒風吹く中で、県林務課のご協力で松本均さんと杉本山廣さん他7名のご指導によりよ福根山にミズメとケヤキの苗を植林しました。現地には子ども達の名前が入った看板が立っています。20歳になった頃が見頃となるそうです。

雄鹿を駆除

20日(月)に2頭の猟犬が運動場で雄鹿を追い詰めていました。猟犬は飛びかかり、雄鹿は角を振り上げ懸命に逃げようとしています。格闘は校舎にだんだん近づき心配しましたが、正門近くの山林に逃げ込んだところでハンターにより駆除されました。



熊山(五家荘)絶滅かのお話

11月26日のハ小タイムで合澤先生から「熊山(五家荘)絶滅か」の話がありました。塩売り勘兵衛が落人の存在を自覚したことにより、菊池氏の命で熊山の征伐に向かう大軍、大変な山道に悪戦苦闘しながらも進軍していると、又もや神がかり的な大事件発生の情報が入って大軍は急遽引き返さなければならぬことが起こってしまう。



全員が完走した持久走大会

15日(水)に持久走大会を実施しました。この大会で結果を出そうと毎朝の自主ランニングや体育の授業で一生懸命に練習してきました。練習で新記録が次々に塗り替えられ、一人一人の回は真剣そのもの。とてもがんばりました。本当に嬉しく思います。終業式で記録証を全員に渡します。大会に挑む姿勢で子ども達の成長を感じました。

